

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		9・開隆堂	第1学年 第2・3学年	美術701 美術801	美術1 発見と創造 美術2・3 探求と継承
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～身近な風景を観察して絵を描いたり、材料の形や色彩、質感などの特徴を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～墨の濃淡を工夫して、奥行きや広がりのある絵を描いたり、心に残った出来事や情景を立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～身近なものの形や色彩から模様を考えたり、木の特徴やよさを生かした使いやすい工芸品をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～伝えたい内容に合わせた本のデザインを考えたり、籐や竹、ひもなどを編んだ工芸品のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～作者の表現した思いや作風などについて話し合う活動を通して、表現方法の違いや美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>第2・3学年～障屏画や水墨画のよさや美しさについて話し合う活動を通して、美術文化の見方や感じ方などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術との関わりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「ロゴマークで印象づける」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りのロゴタイプの形や色彩を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2・3学年～「錯視の効果を生かして」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、伝えたい目的や内容と驚きやユーモアの工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～「祭りの造形」の題材において、地域に伝わる祭りを紹介し、社会科との関連をマーク等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～「安心と安全のデザイン」の題材において、校内の安全を考える活動を紹介し、保健体育科との関連をマーク等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p>			

	<p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～絵や彫刻は16ページ，デザインや工芸は14ページ，鑑賞は14ページ，その他は23ページであり，総ページ数は67ページで，前回より約16%増となっている。</p> <p>第2・3学年～絵や彫刻は24ページ，デザインや工芸は26ページ，鑑賞は34ページ，その他は39ページであり，総ページ数は123ページで，前回より約14%増となっている。</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 全学年の巻末で，発想のための「学びの資料」として，まとめのための資料や表現のための技法などを紹介したり，第2・3学年の空間を意識した抽象彫刻の表現題材で，札幌駅のパブリックアートを紹介したりするなど，生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 全学年の題材の冒頭で，生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり，全学年の題材の随所で，学習のポイントを示したりするなど，主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう，各題材の内容ごとに色で示すなど判読しやすい文字や配色にしたり，用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするなど，使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の 配慮等	<p>○ 地域素材については，北海道にゆかりのある安田侃の彫刻や道立近代美術館に所蔵している絵画作品，アイヌ民族衣装などが取り扱われているとともに，色彩について学ぶ資料の中で，札幌テレビ塔周辺の四季の風景が取り扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については，掲載されているQRコードから，ウェブサイトで教科書掲載以外の生徒作品や関連動画を観覧でき，生徒が課題を追求しやすいよう工夫がなされている。また，映像メディアやアニメーションの技法について扱い，デジタルカメラやコンピュータを学習に活用できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については，巻頭の「図画工作から美術へ」「学びの地図」の中で，小学校と中学校のつながりを明らかにし，新たな学習への動機付けとなるよう配慮がなされている。また，小学校との関連を考えた題材を配置し，発展教材につながるよう配慮がなされている。</p>
本市生徒の 学習の状況等	<p>○ 目的や条件などを基に，強く感じたことや表したいことを考え，豊かに発想する力を育むことができるよう，発想・構想の仕方や学習の進め方についてコラムで紹介する工夫がなされている。また，各題材の1ページ目に評価の3観点の内容に沿って「学習の目標」が明記されており，生徒が学習活動への見通しをもてるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 絵に表現する活動において，形や色，光や影などの性質や，それらが感情にもたらす効果などを理解して表現する力を育むことができるよう，学びの資料に具体的な技法の例を示すなどの工夫がなされている。また，〔共通事項〕の視点や関連する作品の配置などについて工夫がなされている。</p> <p>○ 鑑賞において，作者の心情や表現の意図などについて考え，見方や感じ方を広げたり深めたりする力を育むことができるよう，大開きのページに大きく画像を掲載するなど，視覚に訴える工夫がなされている。また，「作者の言葉」や作品の解説を記載し，鑑賞活動への動機付けができるよう，鑑賞の流れを図説して深い学びとなるよう工夫がなされている。</p>
その他	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		38・光村	第1学年 第2・3学年	美術702 美術802	美術1 美術2・3
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～身近な人物のしぐさからイメージを広げて絵を描いたり、自然物や身近にあるものの材料の形や色彩、材質を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～目の錯覚を利用して形や色彩のトリックを使った絵を描いたり、想像の生物のおもしろさや動きを立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～形や色彩を工夫して文字のデザインを考えたり、用途や条件に応じて発想を広げ、様々な用途の焼き物をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～地域の魅力を伝えるデザインを考えたり、座る人や使う目的に合わせて椅子のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1学年～版の表現のよさや多色刷りの美しさなどについて話し合う活動を通して、版画と絵の違いや美術作品についての基礎的な理や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>第2・3学年～浮世絵の大胆な構図や明快な色彩など日本の美術が西洋の美術に与えた影響について話し合う活動を通して、我が国の伝統的な美術作品などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術との関わりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「心ひかれるこの風景」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風景を描いた作者の思いや表現の工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2・3学年～「あかりがつくる空間」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、様々な光が生活に与える印象や効果を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～「生活をいろいろ文様」の題材において、エッセーの敷き詰め模様を紹介し、数学科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～「メッセージを伝える」の題材において、ポスターなどの広告に入るコピーを紹介し、国語科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p>			

	<p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～絵や彫刻は16ページ，デザインや工芸は16ページ，鑑賞は16ページ，その他は33ページであり，総ページ数は81ページで，前回より約19%増となっている。</p> <p>第2・3学年～絵や彫刻は24ページ，デザインや工芸は16ページ，鑑賞は30ページ，その他は35ページであり，総ページ数は105ページで，前回より約1%減となっている。</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 全学年の巻末で，発想のための「学習を支える資料」として，マッピングや話合いの仕方など発想を広げる方法を紹介したり，第2・3学年の様々な地域の美術文化の鑑賞題材で，伝統的なアイヌ文様を紹介したりするなど，生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 全学年の題材の冒頭で，生徒に身に付けさせたい力を囲みで示したり，表現につながる鑑賞作品と鑑賞が深まる問いを示したりするなど，主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう，各題材の内容ごとに色で示すなど判読しやすい文字や配色にしたり，作品をつくる際の安全について注意喚起のマークを示したりするなど，使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の 配慮等	<p>○ 地域素材については，「生活をいろどる文様」で，旭川市博物館が所蔵しているアイヌ民族の衣服の文様が取り扱われているとともに，「地域の魅力を伝える」で，北海道にある菓子メーカーの紙袋のデザインが取り扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については，掲載されているQRコードから，技法の動画や鑑賞作品の音声ガイド，生徒作品などを閲覧することができ，デジタルコンテンツを主体的に活用して表現や鑑賞の活動を支援することができるような工夫がなされている。また，写真や映像等の撮影の仕方について扱い，題材の中で，コンピュータで調べる活動やデジタルカメラを活用できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については，巻頭の「美術って何だろう？」「美術で学ぶこと」の中で，小学校と中学校のつながりを明らかにし，新たな学習への動機付けとなるよう配慮がなされている。また，技法や用具，〔共通事項〕など，学習を支えるための資料を設定するなどの配慮がなされている。</p>
本市生徒の 学習の状況等	<p>○ 目的や条件などを基に，強く感じたことや表したいことを考え，豊かに発想する力を育むことができるよう，「表現（発想・構想）」で発問の具体を示したり，題材に応じて実際の制作の様子を画像で掲載したりするなどの工夫がなされている。また，各題材の1ページ目に表現領域・鑑賞領域の2視点で「学習の目標」が明記されており，生徒が学習活動への見通しをもてるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 絵に表現する活動において，形や色，光や影などの性質や，それらが感情にもたらす効果などを理解して表現する力を育むことができるよう，学びの資料8ページ分に具体的な技法の例を示すなどの工夫がなされている。また，「学習を支える資料」の中で〔共通事項〕に関わる資料をまとめ，学習に活用できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 鑑賞において，作者の心情や表現の意図などについて考え，見方や感じ方を広げたり深めたりする力を育むことができるよう，大開きのページの設定や版画紙のような風合いの紙の使用など，本物に近い感覚を味わえる図版の工夫がなされている。また，「作者の言葉」や作品の解説を記載し，鑑賞活動への動機付けができるよう工夫がなされている。</p>
その他	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		116・日文		第1学年 第2・3学年	美術703 美術803 美術804
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1学年～身近にあるものや愛着のあるものをよく見て絵を描いたり、木の枝や石、廃材などの形や色彩、質感を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～視点の違いや構図を工夫して印象の変化を生かした絵を描いたり、量感や動勢などを生かし、感情やイメージを立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1学年～自然物や人工物を単純化して模様を考えたり、紙の特性、形や色彩に着目し、美しい装飾をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～布の質感や染色の技法を生かしたデザインを考えたり、木や革などの材料の特性を生かした工芸品のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1学年～原始美術の造形的なよさや美しさなどについて話し合う活動を通して、美術文化や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>第2・3学年～現代美術の美しさや面白さについて話し合う活動を通して、作者の意図と創造的な工夫などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術との関わりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「じっくり見ると見えてくる」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りにあるものの形や色彩などの特徴を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2・3学年～「季節を楽しむ心」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、季節感を取り入れた和菓子や食器のデザインを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～「自然の美しさから生まれた」の題材において、雪の結晶や蜂の巣のハニカム構造を紹介し、理科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～「魅力を伝えるパッケージ」の題材において、お祝いの気持ちを伝える水引を紹介し、外国語科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p>				

	<p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～絵や彫刻は16ページ，デザインや工芸は16ページ，鑑賞は16ページ，その他は27ページであり，総ページ数は75ページで，前回より約25%増となっている。</p> <p>第2・3学年(上)～絵や彫刻は12ページ，デザインや工芸は12ページ，鑑賞は16ページ，その他は25ページであり，総ページ数は65ページで，前回より約12%増となっている。</p> <p>第2・3学年(下)～絵や彫刻は14ページ，デザインや工芸は12ページ，鑑賞は14ページ，その他は21ページであり，総ページ数は61ページで，前回より約5%増となっている。</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 全学年の巻末で，「学びを支える資料」として，技能の習得や題材に関連した鑑賞資料などを紹介したり，第2・3学年の暮らしに息づくパブリックアートの鑑賞で，道内の公園にある屋外彫刻を紹介したりするなど，生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 全学年の題材の冒頭で，生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり，全学年の題材の随所で，造形的な視点を示したりするなど，主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう，各題材の内容ごとに色で示すなど判読しやすい文字や配色にしたり，用具の安全な使い方などについて注意喚起するマークを示したりするなど，使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の 配慮等	<p>○ 地域素材については，暮らしの中に溶け込んでいるパブリックアートの一つとして，モエレ沼公園の自然と芸術作品が調和している風景やさっぽろ雪まつりの雪像が取り扱われているとともに，北海道にゆかりのある作家の彫刻や造形作品が取り扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については，掲載されているQRコードから，作品の画像や動画を閲覧することができ，関連のある題材や資料のページが示されているなどデジタルコンテンツを主体的に活用できるような工夫がなされている。また，写真や映像等の撮影の仕方について扱い，ITC機器を活用して，CMなどの動画編集やアニメーションづくりなど，映像表現について学ぶ題材設定の工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については，巻頭の「中学校美術の世界へようこそ」の中で，小学校と中学校のつながりを明らかにして新たな学習への動機付けをするとともに，小学校図画工作の学びが中学校美術の学びに生かされることを系統立てて分かりやすく示すよう配慮がなされている。</p>
本市生徒の 学習の状況等	<p>○ 目的や条件などを基に，強く感じたことや表したいことを考え，豊かに発想する力を育むことができるよう，発想・構想のヒントとなる作品をつくるまでの過程を示した画像や「学びを支える資料」で「発想・構想の手立て」のページを設定するなどの工夫がなされている。また，各題材の1ページ目に評価の3観点の内容に沿って「学習の目標」が明記されており，生徒が学習活動への見通しをもてるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 絵に表現する活動において，形や色，光や影などの性質や，それらが感情にもたらす効果などを理解して表現する力を育むことができるよう，学びの資料2ページ分に具体的な技法の例を示すなどの工夫がなされている。また，自分の感じ方で形や色彩を捉え，造形的な視点を豊かにするために〔共通事項〕に関わる資料を学習に活用できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 鑑賞において，作者の心情や表現の意図などについて考え，見方や感じ方を広げたり深めたりする力を育むことができるよう，大開きのページに大きく画像を掲載し，実際の版に近い色を再現するなど，本物に近い感覚を味わえる図版の工夫がなされている。また，「作者の言葉」や作品の解説を記載し，鑑賞活動への動機付けができるよう工夫がなされている。</p>
その他	